

# デイリー・ジーザス・ニュース #213

## イエスの宣教 イエスの金持ちとラザロの物語 ルカ16章19-31節

19 「ある金持ちが紫の衣と上質の亜麻布を着て、毎日贅沢な暮らしをしていました。20 ラザロという名の乞食が彼の門に横たわっていた。彼は腫れ物で覆われていた。21 金持ちの食卓から落ちるパンくずを食べたいと切望し、犬まで来て彼の腫れ物をなめました。

22 「時が来て、乞食は死に、天使たちは彼をアブラハムのもとへ運びました。金持ちも死んで葬られました。23 ハデスで苦しみながら、イエスは見上げ、遠く離れたところにアブラハムと、その傍らにいるラザロを見ました。24 そこで彼は父に呼びかけて言った。「父アブラハムよ、私をあわれんでください。ラザロを遣わして、彼の指先を水に浸し、私の舌を濡らさせてください。私はこの火の中で苦しんでいます。」

25 しかしアブラハムは答えた。「子よ、思い出しなさい。あなたは生きている間に多くの良いものを受けましたが、ラザロは悪いものを受けました。しかし今、彼はここで慰められており、あなたは苦しんでいるのだ。26 そればかりか、私たちの間には大きな淵が築かれており、ここからあなた方のところへ行こうとする者はできず、また、あちらから私たちのところへ渡って来る者もいないのです。」

27 「イエスは答えられました。『それでは父よ、お願いします。ラザロを私の家族のもとに送ってください。28 私には五人の兄弟がいます。彼らにも警告を与えてください。そうすれば、彼らもこの苦しみの場に来ないでしょう。』

29 アブラハムは答えた。「彼らにはモーセと預言者たちがいる。彼らに耳を傾けるべきである。」

30 「『いいえ、父アブラハム』とイエスは言われた。『しかし、死人の中からだれかが彼らのところに行けば、彼らは悔い改めるでしょう。』

31 「イエスは彼に言われた。『もしモーセと預言者に耳を傾けないなら、たとえ死人の中から生き返る者があっても、彼らは納得しないだろう。』」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルカ = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

### コンテキストダイジェスト

位置	ペレアのどこか
タイムライン	1月または2月 (36ヶ月目と37ヶ月目)
イエスの生涯の文脈	第7段階: ペレアにおけるイエスの宣教

## デイリー・ジーザス・ニュース #213

	A.ペレア全土におけるイエスの奉仕者たち
タイトル	12. イエスの金持ちとラザロの物語

コメント：

イエスは、宣教活動を通してパリサイ人に説いてきたいくつかの事柄を例証するために、金持ちとラザロのこの話をされました。主は、地上で富を蓄えても神との永遠の関係を無視することの愚かさについて繰り返し語られました。神の国における永遠の運命を確保することこそ、人が地上で蓄えることができる最も重要な宝です。それを怠ることは、金持ちのように永遠の命を無駄にすることです。

イエスはまた、地上で第一級の特権を享受する人々は永遠の世界では最も恐ろしい状況に身を置くことになる、そしてその逆もまた同じだと教えました。金持ちとラザロはこの真理を例証しました。

この物語はまた、道を備え、救世主としてのイエスの生涯と使命を予言したモーセ（律法）と預言者のメッセージに耳を傾けることの重要性も示しました。

イエスは死から復活することで「ヨナのしるし」となるはずでしたが、イエスについて預言した聖書に耳を傾けなかった人々は、イエスの復活の福音を信じませんでした。イエスはここで特にパリサイ人を指して言われましたが、この宣言の真実性はすべての人に当てはまります。イエスを信じる信仰は、聖書の真実の証言に基づいています。聖書を離れてイエスを信じることは不可能であり、逆もまた同様です。

イエスはこの物語で天国と地獄での生活の詳細を説こうとしたわけではありませんが、天国とハデス、つまり神から隔絶された場所での永遠の命が現実であることを明確に示しています。罪深い人々の思いと神との間の隔たりは、神の国で永遠に神と交わりながら生きる者と、永遠の存在を神から隔絶されたまま過ごす者との間の隔たりを象徴しています。この隔たりは現実のものであり、それゆえに非常に深刻なものです。

応用：

地上での私たちの人生における行いは、永遠の結果をもたらします。これはイエスが宣教活動を通して一貫して伝えてきたメッセージです。旧約聖書の預言者たちや新約聖書の使徒たちの証言も同様です。

イエスを信じ、この地上でイエスに人生を合わせるからこそが、天国でイエスと共に永遠に生きるための唯一の備えです。イエスは神から私たちに与えられる唯一の救いの源です。これがイエスのメッセージでした。

あなたは毎日、永遠の恩恵を最大限に得られるような生き方をしていますか？ 全身全霊でイエスに従うことが、それを実現する唯一の方法です。

彼に合わせるために、今日は何をしますか？